

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [社会システム論](#) ②
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

社会システム論 ②

これまで提唱されたシステム論

これらの課題を解くためにさまざまなシステム理論が提唱されました。例えば、サイバネティクス理論（目標への最適コースへ向かうのではなく微調整を繰り返す）は、簡単な例としては、人間の持っている体温の調整機能を冷蔵庫やエアコンに持たせました。人間の体温は、スポーツ等で身体を動かして熱くなると汗を出して自然冷却をし、逆に体温が冷えると震えや鳥肌で冷えた身体を元に戻すように自動的に調整しています。

冷蔵庫では、それを機械装置に取り入れ、庫の中の温度が5度になると冷蔵装置が働きはじめ、0度になると装置が止まるようにして、平均温度が2、3度になるようにしています。その仕組みは一部の生物が持っている体温の自動調整装置を応用したものです。

このような例は多数あります。コウモリが持っている機能をレーダーにしたり、最近の分子生物学の研究をみればわかります。微生物の持っている特徴を医薬品や様々な飲食物へ取り入れたり、遺伝子を操作して医学へその成果を取り入れています。

その他情報理論、ゲーム理論、ホロニック理論、散逸構造論等の理論が提案されてきました。

社会システム理論の立場

社会システム理論とは、社会全体をシステムとして捉える考え方であり、今までの考え方である要素還元主義から離れた考え方です。全体システムは、いくつものサブシステムが組み合わさって、類層構造で作り上げられている考え方で、人間や生物体の特徴を「生命体の有機システム」として物事を考えていきます。

生物体は「種族維持的合目的性」をもって、それぞれフィードバックされたシステムです。そしてその内容を掘り下げ、その考え方を人間の組織や社会にまで広げます。システムとは、それぞれ構成する要素が外部環境に働きかけて初めてシステムの一員になります。

森の中に落ちている落ち葉は、そのままではシステムの要素になったということができません。しかし、生物と機械では、次のような基本的な違い等が数多くあります。

1. 生命は自然に発生するが、機械は自然に発生することはない。
2. 障害に対し、生物は自己調整機能がある。たとえば体内に侵入するものに対する免疫システムがあるが、機械にはなく、それを新たにつくりださなければならぬ。
3. 構成要素を自らつくるのが生物にはある。たとえば手術等で一度切断した器官が回復機能もあるが、機械にはない。

[社会システム論③](#) ⇒

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>> 一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🗺️ サイトマップ 📄 このサイトについて 🛡️ 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.